



# まなびいのつぼ

## 「グローバルの思想」—地域と地球を同時に考える

京都市社会教育委員 安成 哲三氏  
(総合地球環境学研究所 所長)



やすなり てつぞう  
安成 哲三 委員  
プロフィール

京都大学大学院理学研究科博士課程修了後、京都大学東南アジア研究センター助手、筑波大学教授、名古屋大学教授などを経て、平成25年から人間文化研究機構総合地球環境学研究所の所長を務める。日本学術会議会員・連携会員も務める。専門は気象学・気候学、地球環境学。名古屋大学・筑波大学名誉教授。Future Earth 国際科学委員。

宇宙飛行士の多くは、宇宙から地球を見て、かけがえのない地球を再認識して地球に還ってくる。私は宇宙には出たことはないが、飛行機に乗る機会は多い。飛行機の窓から変幻自在に変化する空の動きや複雑多様な地表面の姿を見ながら、地球についていろいろと想いをめぐらすのは私の大きな楽しみのひとつである。

私たちはふだん、例えば京都といった限られた地域で暮らしている。その地域での生活や環境を良くすることを考え、努力することは、もちろん、とても重要なことである。しかし、その地域だけで私たちの生活が成り立っているわけではない。私たちは、

突き詰めれば、地球全体で自然と人がつながりながら、相互に様々な恩恵を受けて生きているのである。時に空から私たちのすむ地球を眺めることで、私たちはそのことを改めて想起する。更に、飛行機から降りて、異なる自然・文化・社会・歴史を持つ地域を垣間見て、私たちとは異なる生き方や、一方で、共通の価値観のあることも知ることができる。

私たち人類は、多様な地域での自然・文化・社会を共存させることにより、この地球に棲むことができているという、「グローバル(global+local)」な視点を大切にすべきではないだろうか。

委員からのメッセージ

グローバルとローカルを同時に考える  
"グローバル"な視点を大切にしよう 安成 哲三

「社会教育委員会議」とは？ 京都市の社会教育・生涯学習の計画の立案や、家庭・地域の教育力の向上、文化・伝統・芸術などの豊かな学習資源の活用など、生涯学習全般に関して幅広く審議し、教育委員会に助言する会議で、現在15名の委員で構成されています。

### おすすめ情報

京野菜を育てませんか？

こがしよくのう もり  
久我・食農ふれあいの杜  
体験農園 参加者募集中!

農家の方のアドバイスのもと、京野菜などの農作物を自分で栽培することができる体験農園の参加者を募集しています。収穫祭やたくあんづくり講習会などのイベントも開催します。

冬野菜の種まきから始めることができる9月からの開始がおすすめです。

▲みんなで土づくりを学ぶ様子 指導農家の樋口さん

アクセス 市バス「久我御旅町」下車  
西へ徒歩約10分(伏見区久我御旅町の農地)

入園期間 随時受付 年間(4月～翌年2月)1区画(20m) 35,000円  
料金 半期(9月～翌年2月)1区画(20m) 17,500円

問合せ 京都市東部農業振興センター ☎075-641-4340

青少年科学センターに新展示品が登場!  
くもダス & 人間万華鏡

「くもダス」は、直径5メートルの半球スクリーンに、屋上の魚眼カメラで撮影した雲の映像をダイナミックに映し出します。リアルタイムの雲の様子に加え、低気圧の通過時の雲の動きなどを早送り動画で見ることができます。大型の三面鏡の中に入れる「人間万華鏡」もおすすめ!

※科学センターでは平成31年の設立50周年に向けて新たな展示品を順次整備中です。

くもダス 人間万華鏡

アクセス 地下鉄・近鉄「竹田駅」から徒歩15分、市バス「青少年科学センター前」下車  
京阪「藤森駅」から徒歩5分

開館 9時～17時  
休館 木曜(祝日の場合は翌平日休館)・年末年始  
入場料 一般510円、中学・高校生200円、小学生100円  
問合せ 京都市青少年科学センター ☎075-642-1601

★最新の生涯学習情報は「京まなび」で検索！  
イベントの掲載も受付中！



子どもたちの今と未来のために、社会のあらゆる場で  
学びの機会を京都市民に実現しましょう!



この印刷物が不要になれば「雑がみ」として古紙回収等へ!

発行:京都市教育委員会 生涯学習部 生涯学習推進担当  
TEL:(075)251-0410 FAX:(075)213-4650  
平成27年6月発行